

砥部町 社協だより

平成24年5月1日発行

第25号 2012

4月より開講しました!!

簡単ヨガ講座

開講式の様子



受講中の様子



エアロビクス教室

開講式の様子

平成二十四年度 事業計画・予算の概要

○ 自主事業 ○

- ・ 理事会・評議員会・監事会の開催
- ・ 社協会員制度の周知及び加入促進
- ・ 在宅介護者家族の会（年3回開催）
- ・ 生きがい教室の開設運営（大正琴）
- ・ 在宅高齢者紙おむつ支給事業
- ・ 在宅重度障害者（児）紙おむつ支給事業
- ・ 介護機器貸出事業
- ・ 地域福祉活動助成事業
- ・ レクリエーション施設整備事業
- ・ コミュニティ視聴覚機材貸出事業
- ・ 笑いによる健康づくり事業
- ・ 砥部町福祉フェスティバルの開催
- ・ ボランティア活動事業
（ボランティアセンター・ボランティア連絡協議会事務局）
- ・ 共同募金事業（赤い羽根共同募金運動）
- ・ 介護保険事業（居宅介護支援事業・訪問介護事業）
- ・ 障害者自立支援事業（居宅介護事業）
- ・ まごころ銀行運営事業
- ・ 広報啓発事業（社協だより・ホームページ）
- ・ ふれあい・いきいきサロン事業
- ・ 簡単ヨガ講座事業
- ・ 児童に関するふれあい交流事業
- ・ はじめてのエアロビクス教室事業



○ 受託事業 ○

生活福祉資金貸付事業（県社協）／福祉サービス利用援助事業（県社協）／心配ごと相談所事業（町）／生活管理指導員派遣事業（町）／家族介護用品支給事業（町）／老人クラブ連合会事務局運営（町）／砥部町老人福祉センター管理（町）／砥部町広田老人憩いの家管理（町）

基本方針 ※抜粋

まず地域福祉の役割として、日々変化する社会の実情を常に把握し、地域住民の意見・要望等を取り入れ、また地域が抱える課題や問題を幅広く捉えながら、福祉的解決に向けた取り組み強化が今後さらに重要となつてきます。

それには福祉的援助を必要とする人々が社会から疎外されることなく、地域住民、ボランティア、民生委員、行政、関係団体等と連携強化に努め、地域福祉活動の協働参加企画の推進を図りながら、だれもが安心して共生できる社会・福祉コミュニティづくりの実現を目指します。

収支予算

（単位：千円）

収 入		支 出	
勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
会費	1,820	人件費	78,910
寄付金	500	事務費	8,515
補助金	7,331	事業費	1,599
助成金	239	共同募金配分金事業費	2,097
受託金	4,975	助成金	1,200
共同募金配分金	2,253	経理区分間繰出金	8,441
介護保険等	80,331	退職金掛金	2,381
利用料収入	48	次期繰越活動費	2,923
雑収入	80		
受取利息配当金収入	48		
経理区分間繰入金	8,441		
収入合計	106,066	支出合計	106,066



赤い羽根共同募金実績報告 3,762,383 円

平成二十三年年度共同募金運動におきましては、皆様のご協力により、3,762,383 円の募金をお寄せいただきました。

ご協力を頂きました皆様、誠に心より厚くお礼申し上げます。

皆様から寄せられました募金は愛媛県共同募金会において社会福祉事業充実のために、県内の社会福祉協議会や民間社会福祉施設及び福祉団体に配分されます。今後とも共同募金運動推進のため、より一層のご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。



あなたの身近な地域にもサロンをつくってみませんか???

砥部町社会福祉協議会では、地域住民が住みなれた場所で生き生きと元気に暮らせることを目指しています。サロンに関するご相談は、砥部町社会福祉協議会事務局（☎0962-7100）担当：松島までご連絡ください。



私達サロンは、毎月第二水曜日に八倉集会所にて、活動しております。寝たきり予防を目的に、ストレッチ体操を取り入れながら、和やかな雰囲気の中、充実した時間を過ごしております。

サロンだより♪今回は八倉いきいきサロンの巻

参加者の声



ストレッチしよったら
あちこちが
痛くなったりする時も
あったけど、日に日に
楽になったんよ。

サロン活動を通じて、
仲間意識ができ、
絆が深まった！

お医者に行って薬を
もらって治療するより
も、サロンに参加する
のが何より楽しい！

夫婦で参加してるけど、
何か照れくさい。
長生きの秘訣は
夫婦ゲンカよ。

みんなが助けて
くれるから今の
サロンがある。
感謝感謝。

みんなに会える
のが嬉しい！

ボランティア活動保険のご案内

加入できる方

- ・ ボランティア個人またはボランティアグループ

補償内容

- ・ ボランティア活動中の様々な事故による賠償責任
- ・ 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- ・ ボランティア活動中のボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償

補償金額

基本タイプ A	280 円
B	420 円
天災タイプ A	490 円
B	720 円

補償期間

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで。4月1日以降の加入は、受付した翌日から平成25年3月31日までとなります。

手続きの仕方

加入申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、掛け金を添えて砥部町社会福祉協議会に提出してください。

お問合せ

砥部町社会福祉協議会

☎0962-7100

担当：松島

イベント等に 利用してみませんか？

砥部町社会福祉協議会では、地域の様々な団体、グループにおける研修会や、学習会等のイベントにご利用頂けるよう、各種機材を用意しております。

視聴覚機材貸出事業 貸出備品一覧



液晶プロジェクター
スクリーン（80・100インチ）
DVD+VHSレコーダー
スピーカー
20型液晶テレビ
レーザーポインタ
SDカラオケマイク



DVD

綾小路きみまろシリーズ（第1～3集）
寅さんシリーズ（第1～48作）
藤山寛美シリーズ
枝雀落語大全シリーズ（第1～40集）
必殺仕事人シリーズ
など

難しい手続きもなく、無料にて貸出しております。お気軽にご利用下さい。

砥部町社会福祉協議会 ☎ 962-7100

シリーズ②

あの人・とべん

○老人クラブの魅力は？

昔のことですが、昭和三十年頃、砥部町の人口も現在の半分ほどの当時、砥部町青年団活動に関わらせてもらっていました。砥部町青年団員から団長を経ての活動期間中、県下でも話題になるほど活発で、当時の活動が懐かしく思い出されます。その当時の仲間と一緒に老人クラブ活動のお世話をさせていたこと非常に嬉しく思っていますと同時に、老人クラブ活動の魅力は、活動を通じて、たくさんの方の友人・知人ができたことです。



前砥部町老人クラブ連合会会長

たけぐち あき お
竹口 秋男さん（75才）

○自ら足を運んで休会クラブの立ち上げに尽力されましたが、老人クラブへのおもいを聞かせてください



全国的に高齢者が増える一方で老人クラブ数・会員数は、減少の一途を辿っており、会員増強運動が展開されるも、砥部町問わず、大きな要因として、お世話役がいらない、若い世代が入会しないなど、休会を余儀なくされる地区が次々にあるという事です。地域の事情がそれぞれあることを承知しているとはいえ、砥部町老人クラブが少しでも活発になってほしい。そのため、クラブの魅力づくりや当事者である高齢者のみならず行政への協力やご指導もいただきたい。

自身、元気でいるかぎり、趣味の旅行や釣りを含めて老人クラブ活動を続けていきたいとおもっています。

趣味活動は生きがいづくり

老人クラブ通信

老人趣味の会開催!!



クロッケーの部

一部	
優勝	千足
準優勝	北川毛B
三位	五本松C
三位	頭ノ向B
二部	
優勝	永寿会A
準優勝	客
三位	総津1
三位	永寿会B



展示の部

最優秀賞

パッチワーク
イラスト
竹口 圭子 (原町仲良しクラブ)
八束ヒナ子 (南ヶ丘白梅会)

優秀賞

パッチワーク
手芸
松崎 速美 (拾町老人クラブ)
中岡セツコ (中野川老人クラブ)
黒田 桂子 (頭ノ向長寿会)
根岸富久美 (上野シニアクラブ)
和田 康子 (北川毛和合クラブ)

佳作

手芸
掛軸
藤田 健一 (頭ノ向長寿会)
上本コメヨ (総津老人クラブ)
山崎 洋子 (天神さわやかクラブ)
藤本ツヤコ (頭ノ向長寿会)
田中ツネ子 (八瀬長寿会)
肥田アサ子 (総津老人クラブ)
板橋ツヤ子 (新田会)

ヘルパー通信

みなさんこんにちは。

現在、私は、訪問介護事業所（ヘルパー）でお仕事をさせていただいています。桜が咲く今時期、ヘルパーとして働き始めた頃を思い出します。八年前のことですが、新米だった私は先輩ヘルパーと一緒に利用者様宅に同行訪問しました。先輩ヘルパーから「おむすびを三つ握ってみて。」と言われて、おむすびを握っていたのですが、初めての訪問で緊張していた私は、うまく握ることができませんでした。不恰好になったおにぎりを「おいしいよ。」と食べてくれた時、私の不安は一瞬で嬉しさにかわりました。帰り際に「また来てね。」と見送りしてくれた、あのしわくちゃな笑顔がいまでも忘れられません。その方は不慣れで不安でいっぱいだった私のことを察知してくれたんだらう。今私がこの仕事を続けられることは、そういう優しさの積み重ねがたくさんの方からあったからだと感じています。

私たちヘルパーは、心待ちにして下さる利用者様がいてこそ、頑張ることが出来ます。初心を忘れずにとおもう毎日です。

訪問介護事業所 砥部町社協
管理者 三谷史代



平成二十四年度 社協会費のお願い

砥部町社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らし続けられる福祉の町づくり」を基本理念とし、住民のニーズにあった地域福祉・在宅福祉の事業推進に努めております。行政の交付金・受託金、共同募金、寄付金及び社協が実施する介護保険事業の収益を財源とし、事業を展開しておりますが、より一層の充実強化を図るため、皆様の協力のもと会員制度を設けております。

住民の皆様からお預かりした貴重な社協会費は、地域福祉事業の重要な財源として地域に還元されています。

会員制度設置の趣旨をご理解いただき、社協会費についてよろしくお願い申し上げます。

併せて、区長さん・組長さんには会費集金についてご迷惑をおかけいたしますが、本年度も協力よろしくお願いいたします。

一般会員 1口 300円、

特別会員（篤志家・団体・施設）1口 1000円

※ 会費につきましては、全戸にご協力をお願いしております。組入りされていない方でご賛同いただける方は、砥部町社会福祉協議会まで直接納入をお願いいたします。

※ 詳細は砥部町社会福祉協議会事務局までお問い合わせください。
☎962・7100



心配ごと相談所日程

生活上の悩みごとや心配ごとなどを一人で抱え込まず、まずは相談してみてください。

法律的なご相談の場合は、心配ごと相談担当の弁護士をご紹介します。

ぜひ、お気軽にご相談ください。秘密は固く守られます。電話でも随時相談を受け付けております。（☎962-7100）

開催場所	開催時間	5月	6月	7月
広田老人憩いの家	午後1時～午後3時	2日（水）	6日（水）	4日（水）
砥部町中央公民館	午前10時～正午	15日（火）	15日（金）	13日（金）
砥部町老人福祉センター	午前10時～正午	25日（金）	25日（月）	25日（水）

あなたの**声**をお待ちしています。

社会福祉協議会に関するみなさんからのご意見、ご質問がありましたら事務局までご連絡ください。

砥部町まごころ銀行



丸與 博美 様
（株）砥部焼陶芸館 様

【香典返し・一般寄付】

平成二十四年二月
平成二十四年四月
（敬称略・順不同）

あたたかい善意を
ありがとうございました。
ございました。



「やさしさ」を抱きしめよう

編集・発行 社会福祉法人 砥部町社会福祉協議会

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南 719 番地
（砥部町老人福祉センター内）

TEL (089) 962-7100 / FAX (089) 962-7186

メールアドレス tobe-shakyo@abeam.ocn.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.tobe-shakyo.jp/>